

情報発信（調査研究の成果を全会員に共有）

機関誌「知財管理」を毎月、広報誌「季刊じば」を年4回発行しています！

「知財管理」は、専門委員会による調査研究の成果と、専門委員会の一つである会誌広報委員会が企画した論説で構成された機関誌です。企業目線でビジネス寄りかつ実務的な内容が特徴で、企業の実務担当者向け知財専門誌として高く評価されています。特許庁幹部が持ち歩いて読んでいらしたこともあります。権利化や活用にとどまらず、戦略、マネジメント、国内外の動向などを幅広くカバーしており、バラエティ豊かな論文がバランスよく掲載されています。ぜひ、冊子を手にとってご覧ください。また、会員企業のデータや統計、アンケート結果なども多数収録されており、知財業務における課題解決に役立つ論文がきっと見つかるはずです。JIPAホームページで検索してご活用ください。

「季刊じば」は、4ページのカラー誌面で、気軽に手に取ってJIPAの活動や知財のトピックスを知っていただくことをコンセプトにした広報誌です。「知財管理」を読む時間が取れない知財部員はもちろん、「知財は専門的でわかりにくい」と感じている方々にも、知財に興味を持っていただける内容です。ぜひページをめくってみてください。



会員資格 及び 入会手続き

正会員

次の要件①～⑥を全て満たす法人

- ① 日本法人
- ② 民間の立場において事業を営む者
- ③ 主に営利活動を営む者
- ④ 事業のために知的財産を創出し、その保護と活用を図っている者
- ⑤ 知的財産につき担当者を置いている者
- ⑥ 本会の目的に賛同し、他の会員と協調する者

賛助会員

正会員の要件は有しないが、本会の目的に賛同する法人・団体・機関等

典型例

- ① 日本法人以外の外国法人・機関・団体等
- ② 官公庁又は地方公共団体の機関や外郭団体
- ③ 社団法人、財団法人、国立大学法人、学校法人、独立行政法人、特殊法人などの非営利法人
- ④ 法律事務所、特許事務所、特許調査会社、TLO等

入会金
及び
入会費

正会員・賛助会員とも同額

- 入会金 100,000 円
- 年会費 250,000 円

入会
手続き

次の資料を JIPA 事務局に提出して下さい（※は正会員のみのみ）

- ① 入会申込書（正会員の会員代表による推薦）
- ② 会社（事業）概要
- ③ ※知財部門の組織概要と社内での位置付け
- ④ ※特許、実用新案、意匠、商標の国内外での保有件数及び出願継続中の件数

詳細は、JIPA ホームページをご覧ください（<https://www.jipa.or.jp/syokukai/nyukai/nyukai.html>）



JIPAのご案内

JIPAなら 見つかる 学べる

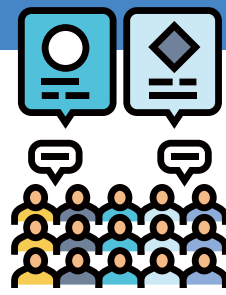
JIPAなら 出会える つながる

知財で未来を紡ぐ日本最大級のプラットフォーム



一般社団法人
日本知的財産協会
Japan Intellectual Property Association

日本知的財産協会 (JIPA)とは



JIPAは、1938年(昭和13年)に設立された、知的財産活動を行う総合的な民間団体です。日本の製造業やサービス産業など多岐にわたる業種・規模の企業をはじめ、大学や研究機関などのアカデミア、国内外の特許事務所や法律事務所など、様々な立場で知的財産に関わる約1,400の会員によって構成されています。



定時社員総会

JIPAでは、日本及び世界の知的財産制度が、会員にとって事業活動やイノベーションを促進する上で健全で適正なものとなるよう、その改善や運用に関する提言を行政や国際機関等に対して行っています。
またJIPAでは、様々なイベントや行事、さらには各コミュニティにおける調査・研究活動を通じて、会員同士の意見交換や情報交換を図り、相互にネットワークを構築することができる日本最大級の知財プラットフォーム



JIPA 知財シンポジウム

として、大きな役割を果たしています。
今後も、知的財産の活用を通じて日本の産業発展に寄与するという高い目標に向けて、積極的に活動していきます。

地域別部会(正会員・賛助会員)

関東部会と関西部会があり、年4回 東京・大阪会場で部会を開催し、会員であればどなたでもご参加頂けます。部会では、協会活動に関する会務報告や委員会などからの成果発表、外部講師による講演などを行っています。また東海地区、中国・四国・九州地区には、それぞれ地区協議会があり、独自の活動を行っています。



知財問題研究会(正会員)

関東・東海・関西の3地区において、年度ごとに関心のある身近なテーマを設定し、月1回のメンバー間による会合を行って、その成果を取り纏めています。メンバー間の交流を図るのに適したコミュニティです。

ワーキンググループ (正会員・一部賛助会員)

専門委員会とともに、JIPAにおける中心的なコミュニティがワーキンググループ(WG)です。現在WGとしては、10グループが活動しています。それぞれのテーマに基づき、外部との意見交換や行政に対する政策提言などの活動を積極的に展開しています。

実践コミュニティ (JIPAの多彩な活動)

専門委員会(正会員・一部賛助会員)

JIPAの調査・研究を行うコミュニティで中心的な役割を果たしているのが、専門委員会です。現在は、人材育成、会誌広報、特許第1・第2、国際第1・第2・第3・第4、ライフサイエンス、ソフトウェア、著作権、マネジメント第1・第2、情報システム、情報活用、ライセンス第1・第2、意匠、商標、フェアトレードの計20の委員会が活動しています。毎年1回委員の募集を行い、現在では約750名の会員の皆さんがメンバーとして参加し、テーマに基づいた調査・研究活動を展開しています。そして、その研究成果を「知財管理」誌への掲載や研修を通じて、全会員に共有しています。さらに、委員会活動に参加することで、ネットワークを広げることができます。

少数知財研究会 月例ワーキング(正会員)

知財部門の人員が10名以下の会員によるコミュニティが少数知財研究会で、関東・東海・関西の3地区で活動しています。自社と同じような環境にある他社の会員との交流は、問題意識や課題感に共通点が多く、お互いにとって有意義なものとなります。近年、このコミュニティ活動への参加希望が増えており、JIPAにおける目玉の一つとなっています。

業種別部会(正会員)

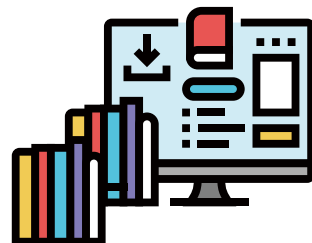
正会員の皆さんは、自社の事業内容により、関東と関西の「金属機械」「電機サービス」「化学」「建設」のいずれかの部会に所属して頂きます。それぞれの部会は、幹事の皆さんを中心に自主運営されており、当該業種における関心事項に基づいた講演会や情報交換を年4回から5回実施しています。懇談会や宿泊部会も企画されており、同業種の会員の皆さんとのネットワーク構築にも繋がります。

会員代表の集い(正会員)

毎年9月に関東・関西の2会場で、正会員の会員代表の皆さんを対象としたイベントを開催しています。
このイベントでは外部有識者の講演やメンバー間でのグループ討議などを通じて、関心の高いトピックに関する最新情報や各社の現状について情報共有するとともに、他の会員代表の方とのネットワーキングにも役立ちます。



研修・教育 (実務に効く、プロを育てる JIPAの研修プログラム)



「知財の未来を切り拓く、あなたの一步をここから」～ JIPA研修プログラムのご案内～

いま、世界中でビジネスが激しく変化するなか、「知的財産」の重要性はかつてないほどに高まっています。JIPAが提供する研修は、その最前線で活躍するための“実践力”を養う、唯一無二のプログラムです。会員企業向けに年間100を超える定例・臨時研修コースを開催しています。特許、商標、著作権、契約、国際法務、英語実務、さらにはマネジメントや知財戦略まで、知財業務のあらゆるフェーズをカバーしています。そのラインアップは、知財初心者からベテラン、エンジニアから経営層までを対象に、キャリアと目的に応じて選択可能です。さらに、米国・欧州・アジアなど各国の制度に精通した講師陣によるグローバル対応も特長です。
講義はすべて実務家目線。たとえば「明日から使える中間処理対応」「実践的な特許出願演習」など、知識の習得にとどまらず、実務で即戦

力となるノウハウを伝授します。受講者の口コミでは「ケーススタディがリアルで分かりやすい」「講師の経験談が具体的で参考になる」と高評価。新入社員から部門マネジャーまで、多くの受講者が「学び直し」にも活用しています。集合研修ではグループディスカッションやワークショップも取り入れて、実践的な理解を深める設計となっています。
また、オンデマンド講座も充実し、忙しいビジネスパーソンでもいつでも・どこでも・自分のペースで「学べるようになりました」。
知財部門の立ち上げを考えている企業様、海外展開を見据えた法務強化をお考えの方、また自身のキャリアアップを図りたい知財パーソンの方など、ぜひJIPA研修をご活用ください。
知財のプロフェッショナルを育てる、確かな学びがここにあります。

